

図書館だより

令和7年7月1日発行

7月号



郡山第五中学校 図書委員会
3-4 3-5
学校司書 渡邊 恵美



夏休みの特別貸出は7月14日(月)からスタートします！

・貸出冊数・1人5冊まで。(5冊の範囲内での貸出・返却は何度でも可能です。)

1学期の貸出は7月10日木曜日まで。かりている本は必ず7月11日金曜日までに返却してください。

7月のテーマ

町にやさしい 「緑のカーテン」



平安時代に薬用として栽培されていた朝顔。観賞用となったのは江戸時代です。朝顔市が開かれる東京都台東区入谷は産地として有名です。地球温暖化防止対策として、生育旺盛なアサガオの品種の「緑のカーテン」が期待されています。

歌おう。日本の歌を！ 美しいメロディーを！



1918年7月1日に創刊された児童文芸誌「赤い鳥」からたくさんのすばらしい童謡が生まれました。7月1日は「童謡の日」。童謡は日本の文化遺産です。優れた詩とメロディーを受け継いでいきましょう。

みんな大好き アイスクリーム！



牛乳や生クリーム、果物やチョコレートなど身近にある材料を使っておうちで手作りしてみましょう。冷凍庫で冷やしてあとは待つだけ。7月3日は日本にソフトクリームが登場したことから「ソフトクリームの日」です。

心の窓を のぞいてみよう。



今日一日の出来事をその時の気持ちとともにノートに書き出してみましょう。まずは一週間続けてみましょう。書くことで自分の心が少しずつ整理されていきます。喜び・怒り・悲しみ・悔しさ…自分の気持ちを見つめてみましょう。

掃除をしよう



整理整頓できていますか。あなたの机の回り・引き出し、身の回りはちがっていませんか。掃除をしましょう。掃除をして、いらぬものは処分し、きれいにしておくと夏休みをスタートさせましょう。

図書委員おすすめの本

3-4



人間失格

太宰治

「恥の多い人生を送ってきました」

この本は、太宰治の自伝であり遺書である。東北の田舎に生まれ、無邪気さを装った少年時代を過ごし、自殺未遂を繰り返し薬物に溺れていきだんだんと変わっていく自分の姿を「人間失格」として書かれた作品です。

価値観、表現、物など今とは違うものに注目して読むととても楽しめる作品だと思います。

3-5



泣くな研修医

中山裕次郎

地元の大学の医学部を卒業し、研修医として都内の病院で勤務することになった新人外科医の雨野隆治。やる気に溢れていた彼を待っていたのは、何をやっても上手くいかず、上司や先輩に叱られてばかりで、目の前の命を救えない「未熟な自分」という、理想とはかけ離れたものであった。

「1日でも早く、立派な外科医にならねば。」雨野はつらいと感じても、この思いで日々研修医の仕事に励んでいた。

そんな雨野はある日、2人の患者の担当医をすることとなった。1人は、事故によって意識不明の重体である男児の拓磨。もう1人は、雨野と同年のがん患者 イシイ。雨野は2人の患者を通して「ある思い」が強くなる…。

そして何が、雨野を医者への道へと歩ませたのか。

現役外科医による、研修医の困難や苦悩を描いた作品。

先生のおすすめの本

栗城美佳子先生



真相をお話します

結城真一郎

大学受験と家庭教師の話、友人との三角関係など短編集なので、隙間時間にさっと読める本です。

忙しい人や、長編が読みきれない人におすすめです。え？そうなの？からの意外な結末がおもしろいと思いました。ミステリーだけど、そんなに怖くないので、ぜひ読んでみてください。

橋本和雄先生



「世界とキレル」

作者佐藤まどか

中学生になるとスマホを使い始める子が増えて、友達とメッセージのやり取りやSNSに夢中になっている子も多いかもしれません。皆さんはいかがですか？

この本はそんな「スマホ」「SNS」がテーマです。3週間の強制デジタル・デトックス。皆さんは耐えられますか！？

デジタル中毒になっているあなた！ドキッとさせられる話です。受験を控えた夏休み前に、読んでみてはいかがでしょうか。

課題図書以外にも読書感想文におすすめの本があります。五中図書館にぜひ足を運んでみてください！



第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書 中学生の部

わたしは食べるのが下手

天川栄人



少食で食べるのが遅い葵は、食事の時間が苦手。とくに給食は…。「小林さんさ、たぶん君、会食恐怖症だわ」無理に油淋鶏を飲みこんで気持ちが悪くなった葵は、保健室でクラスの問題児、咲子にそう言われる。実は咲子も、食にかかわるある悩みを抱えていた。そんな二人は、新任のイケメン栄養教諭に焚きつけられて、給食改革に乗り出すことに…。わたしたちが望む給食って、いったいどんなだろう？

スラムに水は流れない

ヴァルシャ・バジャー



そもそもの問題は、水がたりないことだった。

インド有数の大都会ムンバイ。12歳のミニと15歳の兄サンジャイが暮らすスラムには、ムンバイの人口の40パーセントが住んでいるにも関わらず、水は市全体の5パーセントしか供給されていない。水不足がきびしくなる三月のある夜、サンジャイが「水マフィア」を目撃してしまい……。家族の絆、友情、そしてインドの「今」を描く、勇気と成長の物語。

家族とフィールドワークを進めた人類学者 鳥居きみこ

竹内紘子



鳥居きみ子の夫は、「知の巨人」ともいわれ、明治から昭和時代にかけて活躍した人類学者、鳥居龍藏です。彼の生涯や研究業績を紹介した本はたくさんありますが、きみ子のことはこれまで紹介されたことがほとんどありません。じつは、「家族とともに調査・研究する」という形で、女性の活躍が厳しい時代を生き抜いた先駆的な研究者なのです。人類学のなかでも、昔から伝わる生活・風習・伝説・歌などを調べる民族学を切り開きました。その生涯をはじめて伝える一冊です。

クラス別貸出冊数 ※集計期間2025/6/2～6/26

	1組	2組	3組	4組	5組	計
1年生	133	78	102	114	62	489
2年生	117	90	60	39	56	362
3年生	12	46	44	8	28	138

6月の多読本ランキング

集計期間2025/6/2～6/27

1位	星のカービィ	貸出数
	メタナイトと魔石の怪物	17
2位	青鬼調査クラブ 1	7
3位	青鬼調査クラブ 9	6
4位	仕掛島	5
4位	小説ブルーロック	5
	EPISODE 風 1	